

長研だより

No. 6

発行日

平成29年12月7日

「長研ゼミナール」熊田次長講話

11月20日（月）の長研ゼミナールの講師は、熊田次長でした。行政職の立場から、文書（記録）の重要性やコスト（＝税金・労力・時間）意識をもつこと、さらに、小学校管理職の経験から、校内でのリーダーシップや若手の育成についての講話内容でした。最後に、「長期研修の報告書がまとまってからが、皆さんの新しいスタート。子供達のために、という志を持ち続けて欲しい。」というエールが贈られました。



「長研ゼミナール」吉田企画管理課長講話



今年度から、長研ゼミナールに給与事務の講話が入りました。講師は、企画管理課の吉田課長でした。地方公務員の給与制度、教職員の給与について、法制度や給与に関わる具体的な数字を示しながらの話でした。

長期研修生の感想には、「今までもらっていた給与明細について理解が深まりました。」「茨城県の教職員は恵まれていると分かりました。」などがありました。教員評価と給与の関係についても関心が高まりました。

～研究内容検討会（3か月）を実施しました～



11月27日（月）、これまでの研究実践を10枚の報告書にまとめ、研究内容検討会（3か月）が行われました。今回は、20分間にまとめたプレゼン発表と、20分間の協議を行いました。指導主事や主査からのアドバイスを聞き漏らすまいと、真剣にメモを取っていました。

今後、研究発表会に向けて報告書を修正し、所属課別のリハーサルを実施し、いよいよ研究発表会を迎えます。ゴールが見えてきた3か月生。リハーサル資料の印刷・製本には、6か月生が全面的に協力してくれ、チームワークも絶好調です。

